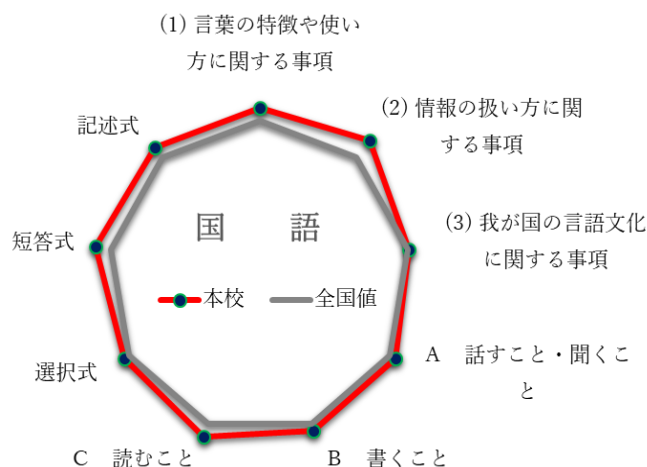


令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

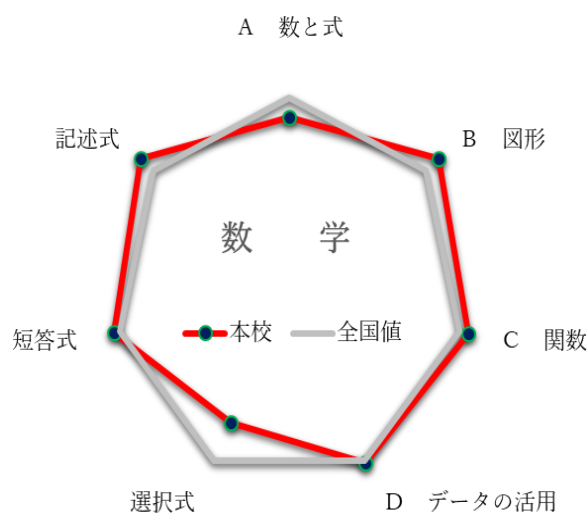
【国 語】



〔状 況〕

- ・総合では、全国値を上回る結果となった。
- ・領域別では、情報の扱い方に関する事項が全国値を大きく上回った。
- ・問題形式別では、短答式の正答率は全国値を大きく上回った。
- ・授業においては、本校の教職員研修*1で取り組んでいる「協働的な学び(対話的な学び)」による「深い学び」を導く授業設計の工夫を推進する。

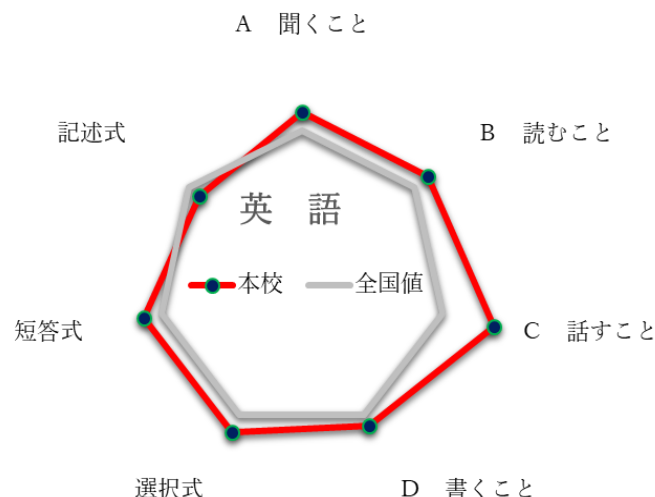
【数 学】



〔状 況〕

- ・総合では、全国とほぼ同値となった。
- ・領域別では、数と式の問題では全国値を下回った。
- ・問題形式別では、例年とは異なり、選択式問題の正答率が全国値を下回り、記述式においては上回る結果となった。
- ・授業においては、本校の教職員研修*1で取り組んでいる「個別最適な学び」となるように、「個に応じた学習」を導く授業設計やICTの活用の工夫を推進する。

【英 語】



〔状 況〕

- ・総合では、全国値を上回る結果となった。
- ・領域別では、読むことで全国値を上回った。話すこと（出題5問）に関しては、難易度が高く全国の6割以上が無得点であった。本校においては、無得点が4割であった。
- ・問題形式別では、記述式において下回る結果となった。
- ・授業においては、アクティブラーニング*2の成果が表れているが、自身の意見を表出するプレゼンテーションや英文レポート作成など、「協働的な学び（対話的な学び）」による「深い学び」を導く授業設計の工夫を推進する。

【本校全体の状況】

〔本校の課題〕

本校においては、今年度、数学は全国と同水準、国語と英語は全国平均を上回る結果となっています。北海道全体は、3教科とも全国平均をやや下回っています。また、帯広市においては、3教科とも全国平均以上となっています。

特に、目的や条件に応じて理由や根拠を示したり、自分の考えを筋道を立てて説明する「思考・判断・表現」の観点に課題が見られました。

〔本校教職員の研修〕 *1 *2

これまで保護者の皆様が学んでこられたスタイルの「一斉型の授業」のほか、「自らの考えや取組を発信する」ような授業スタイルのアクティブラーニングを推進しており、今回の調査にもそのような問題が出題されております。

本校では教職員が「学校は“学び成長する場”である」というスローガンのもと、研修部を中心とした授業改善に力を入れております。そのために、ICTを活用した『個別最適な学び』（主体的な学び）と『協働的な学び』（対話的な学び）の活動を通して、「深い学び」の形成を目標としています。

〔ご家庭との連携〕

生徒質問紙からは、「授業以外で勉強をする時間が短い」、「SNSや動画視聴、ゲームをする時間が長い」などの傾向が見られます。このことから、『ICTの効果的な活用を含めた主体的・対話的で深い学びの実現』に向けた、望ましい学習習慣・生活習慣の定着に向けた家庭や地域との連携などの取組を一層充実させる必要があると考えています。お子さんの自己実現に向け、ご家庭と学校の連携した学力の向上にもご協力ください。